

「釧路湿原自然再生協議会」

第29回 再生普及小委員会

平成29年6月15日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

釧路湿原自然再生協議会
第29回 再生普及小委員会

日時：平成29年6月15日（木）13:30～15:30

場所：釧路地方合同庁舎5階 第1会議室

（釧路市幸町10丁目3番地）

----- 議 事 次 第 -----

- 1, 開会
- 2, 議事
 - 1) 再生普及小委員会の活動について
 - 2) 自然再生の普及のためのパンフレットの活用について
 - 3) その他
- 3, 閉会

----- 配 布 資 料 -----

- ・ 議事次第
- ・ 再生普及小委員会 委員名簿
- ・ 第29回再生普及小委員会 出席者名簿
- ・ 第29回再生普及小委員会 資料
 - [資料 1-1] ワンダグリンダプロジェクトの推進について
 - [資料 1-2] 再生普及推進のための連携チーム会合について
 - [資料 1-3] 学校支援ワーキンググループの取組について
 - [資料 2-1] 自然再生パンフレットの活用について
 - [資料 2-2] 自然再生パンフレット
- ・ 「ワンダグリンダ・プロジェクト 2016」活動報告書
- ・ 釧路湿原国立公園指定30周年記念シンポジウム チラシ
- ・ 第19回フィールドワークショップ チラシ
- ・ 意見・要望アンケート用紙

釧路湿原自然再生協議会
再生普及小委員会 委員名簿

計:67名

■個人(29名)

(敬称略、五十音順)

No.	氏 名	所 属
1	石 岡 透	
2	伊 藤 毅	上智大学
3	甲 斐 田 直 子	筑波大学システム情報系 (社会工学域)
4	金 子 正 美	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 教授
5	神 戸 忠 勝	
6	君 塚 孝 一	(有)自然文化創舎
7	木 村 勲	
8	小 松 繁 樹	
9	貞 國 利 夫	釧路市立博物館
10	佐 野 修 久	釧路公立大学地域研究センター所長
11	清 水 信 彦	
12	新 庄 久 志	釧路国際ウエットランドセンター技術委員長(環境ファシリテーター)
13	杉 澤 拓 男	
14	高 嶋 八 千 代	
15	高 橋 昭	
16	高 橋 忠 一	
17	竹 中 康 進	
18	橋 利 器	トラウトフォーラム会員
19	橋 治 國	特定非営利活動法人 水圏環境科学研究所 理事長
20	鶴 間 秀 典	
21	照 井 滋 晴	特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG 代表
22	中 村 太 士	北海道大学大学院 農学研究院 教授
23	平 岡 俊 一	北海道教育大学教育学部釧路校 准教授
24	蛭 田 眞 一	北海道教育大学 札幌校 教授
25	松 本 文 雄	
26	矢 吹 哲 夫	酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 教授
27	吉 村 暢 彦	北海道大学環境科学院
28	渡 辺 剛 弘	上智大学
29	渡 辺 義 勇	

■団体(23名)

(敬称略、五十音順)

No.	団体/機関名	代表者名
1	阿寒国際ツルセンター (グルス)	主任解説員 河瀬 幸
2	釧路観光連盟	会長 佐藤 悦夫
3	釧路国際ウエットランドセンター	理事長 蝦名 大也
4	釧路自然保護協会	会長 神田 房行
5	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 山岸 彬
6	釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 蝦名 大也
7	釧路シャケの会	会長 小杉 和寛
8	釧路武佐の森の会	会長 大西 英一
9	こどもエコクラブくしろ	近藤 一燈美
10	公益財団法人日本鳥類保護連盟釧路支部	支部長 小柳 慶吾

No.	団体/機関名	代表者名
11	公益財団法人日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	チーフレンジャー 原田 修
12	公益財団法人北海道環境財団	理事長 小林 三樹
13	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 水環境保全チーム	上席研究員 新目 竜一
14	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
15	塘路ネイチャーセンター	センター長 鷺見 祐将
16	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	理事長 赤松 里香
17	特定非営利活動法人 くしろ・わっと	理事長 小林 友幸
18	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
19	特定非営利活動法人 鶴居タンチョウ元亀村	理事 佐藤 吉人
20	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道
21	北海道標茶高等学校	校長 三上 拓志
22	北海道プロフェッショナルフィッシングガイド協会	会長 テディ 齋藤
23	ボランティアネットワークチャレンジ隊	代表 佐竹 直子

■オブザーバー(5団体)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	釧路商工会議所	会頭 栗林 定正
2	釧路町商工会	会長 土井 茂人
3	標茶町商工会	会長 田中 進
4	弟子屈町商工会	会長 桐木 茂雄
5	鶴居村商工会	会長 大津 泰則

■関係行政機関(10機関)

(敬称略)

No.	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 梅沢 信敏
2	環境省 釧路自然環境事務所	所長 安田 直人
3	林野庁 北海道森林管理局	局長 淵上 和之
4	北海道 釧路総合振興局	局長 築地原 康志
5	北海道教育庁 釧路教育局	局長 石川 忠博
6	釧路市	市長 蝦名 大也
7	釧路町	町長 佐藤 廣高
8	標茶町	町長 池田 裕二
9	弟子屈町	町長 徳永 哲雄
10	鶴居村	村長 大石 正行

「釧路湿原自然再生協議会」

第29回 再生普及小委員会

資 料

平成29年6月15日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

目 次

【再生普及小委員会の活動について】

資料 1-1	ワンダグリーンダプロジェクトの推進について	・・・	1
資料 1-2	再生普及推進のための連携チーム会合について	・・・	11
資料 1-3	学校支援ワーキンググループの取組について	・・・	14

【自然再生の普及のためのパンフレットの活用について】

資料 2-1	自然再生パンフレットの活用について	・・・	16
資料 2-2	自然再生パンフレット	・・・	17

ワンダグリンド・プロジェクトの推進について

■「ワンダグリンド・プロジェクト 2016」活動報告書の作成

2016年度に参加した60団体・個人／81取組み（協議会含む）について活動報告書を作成

■「ワンダグリンド・プロジェクト 2016」参加者への活動支援

- ・イベント、パネル展での活動紹介
- ・メールニュースでの活動情報発信
- ・活動の場の提供、イベント等での支援

■「ワンダグリンド・プロジェクト 2017」募集

チラシ、ポスターを各施設に配布。またWEBページ等で広報し参加者を募った。

■フィールドワークショップの実施

ワンダグリンド・プロジェクト 2016 応募者を主な対象としたフィールドワークショップを開催した。

[タイトル] 第18回「洪水の後を訪ねて」～ケネチャラシベツ川踏査～

[日時] 2017年2月11日（土）8：30～15：00

[場所] 標茶町

[案内人] 新庄久志氏（釧路国際ウェットランドセンター主任技術員）

[参加者] 19名

[内容] 釧路湿原の原生の姿を残すケネチャラシベツ川周辺を歩き、2016年夏の洪水の影響を調査

[アンケートより抜粋]

- ・本来の釧路湿原を見る事が出来た様に思います。
- ・地質と植生、水と栄養の関連が良く解りました。
- ・湿原の成立ちや構成を論理的に説明頂き、実際に見た事と照らし合わせて理解が深まりました。
- ・ハンノキの育ち方を見て湿原を見る見方を教えてもらい面白かった。湿原の中を流れているケネチャラシベツ川を見られて感激でした。
- ・厳冬期にしか入れない場所に入れて大変良かった。



※次回のフィールドワークショップは8月8日（火）開催予定。

■WEBサイトの運営

- ・ホームページ「みんなで進める！釧路湿原の自然再生」の更新を行い、行動計画に参加する団体の活動に関する情報や釧路湿原周辺で行われる行事に関する情報を随時発信した。

概ね月2回程度の更新を行った。(URL: <http://heco-spc.or.jp/kushiro/>)

■メールニュースの配信、掲示

- ・電子メールによるニュースレター『ワンダグリンダ☆ニュース』での情報発信を行った。釧路湿原周辺のイベント情報等を主なコンテンツとして概ね月2回の配信を行った。また、電子メール受信者自身が施設等に張り出せるよう、メールニュースの内容をPDFファイルとして添付送信した。

■イベント出展による情報発信等

○たんちょう釧路空港「釧路湿原自然再生事業紹介パネル展」

[期間] 2017年12月16日～1月15日

[内容] パネル、湿原クラフトジオラマの展示



○シルバーシティときわ台ヒルズ「釧路湿原自然再生パネル展」

[期間] 2017年2月1日～2月28日

[内容] 釧路湿原自然再生事業紹介パネル展及びワンダグリンダ活動紹介



○シルバーシティときわ台ヒルズオープニングイベント

「釧路湿原について学ぶ自然文化講座」

[日時] 2月7日(日) 13:00～14:00

[会場] シルバーシティときわ台ヒルズ1階ホール

[講師] 菊地義勝氏(釧路国際ウェットランドセンター事務局長)

[講演内容] 自然とわたしたちの暮らし

[参加者] 61名



■現場見学会など市民参加イベント（予定）について

ワンダグリンダ・プロジェクトのうち自然再生への具体的な取り組みを行っている団体に加え自然再生協議会の各小委員会が主催する市民参加の取り組みのとりまとめを行った。

※今後、ホームページへの掲載、メールニュースによる情報発信、チラシ配布等を通してPRし市民参加の拡大を図る。

●：主催事業 ○：協力事業

担当	自然再生への参加機会づくり	
	自然再生を活用した環境教育の取り組み	自然再生への参加の機会づくり
湿原再生	—	<p><開建治水課></p> <p>● <u>釧路湿原を再生しよう！未利用地を湿原に再生する取り組み 幌呂地区湿原再生現地見学会</u></p> <p>日時：平成29年7月～8月 場所：幌呂地区湿原再生箇所（鶴居村下幌呂） 内容：事業説明＋現場見学＋自然再生体験（ヨシ移植・外来種防除） 対象：一般市民</p>
	—	<p><環境省></p> <p>● <u>アウトドア好き集まれ in 達古武湖</u></p> <p>日時：平成29年8月下旬（予定） 場所：釧路町達古武湖 内容：カヌーを使っのヒシ刈り 対象：独身男女</p>
旧川復元	—	<p><開建治水課></p> <p>● <u>旧川復元小委員会ヌマオロ地区現地見学会</u></p> <p>日時：平成29年5月26日（金） 場所：ヌマ地区旧川復元箇所（標茶町オソベツ原野） 内容：事業説明＋現場見学 対象：旧川復元小委員会 委員</p> <p>● <u>釧路湿原を再生しよう！直線河道を蛇行河川に戻す取り組み 旧川復元現地見学会</u></p> <p>日時：平成29年7月～9月 場所：茅沼地区旧川復元箇所（標茶町コッタロ原野） ヌマ地区旧川復元箇所（標茶町オソベツ原野） 内容：事業説明＋現場見学（復元箇所eボート川下りほか） 対象：一般市民</p>

森林再生	—	<p><林野庁ふれセン></p> <p>●<u>雷別ドングリ倶楽部</u></p> <p>日時：年6回開催予定 場所：標茶町雷別地区国有林外 内容：植樹、下刈などの保育活動 (本倶楽部は、雷別地区国有林の森林再生のためのボランティア活動。)</p> <p>●<u>ボランティア植樹</u></p> <p>日時：5月26日(金) 場所：標茶町雷別地区国有林 内容：植樹(雷別地区国有林の森林再生のための市民参加による植樹)</p>
森林再生	—	<p><環境省></p> <p>●<u>自然再生を考える調査体験会 2017「森づくりと生き物調べ」</u></p> <p>日時：平成29年9月2日(予定) 場所：達古武の森林再生地 内容：事業説明+現場見学+森の動物調査 対象：まなぼつと探検隊(釧路市生涯学習センターと共催)</p> <p>●<u>自然再生を考える調査体験会 2017「沢の生き物調べ」</u></p> <p>日時：平成30年2月(予定) 場所：達古武の森林再生地 内容：事業説明+現場見学+冬の沢の生き物観察 対象：一般市民</p>
水循環	—	<p><開建治水課></p> <p>●<u>公開シンポジウム</u></p> <p>日時：平成30年2月～3月 場所：未定 内容：水・物質循環に係るシンポジウムなど 対象：一般市民・協議会委員</p>
地域づくり	—	—
土砂流入	—	<p><建設管理部治水課></p> <p>●<u>久著呂川自然再生の見学ツアー</u></p> <p>日時：平成29年8月下旬(予定) 場所：久著呂川流域及び事業実施箇所 内容：事業説明+現場見学 対象：一般市民</p>

再生普及	<p><環境省> ●北海道高等学校理科研究会釧根支部 第一回研修会 日程：平成29年6月8日(木) 場所：温根内木道、温根内ビジターセンター 内容：フィールドワーク+取組みの紹介 対象：高等学校教員 共催：北海道高等学校理科研究会釧根支部</p> <p>●体感！釧路湿原～理科・社会科の視点から～ 日程：平成29年8月30日(水) 場所：鶴居村キラコタン岬、温根内ビジターセンター 内容：フィールドワーク+座学+取組みの紹介 対象：小学校・中学校・高等学校教員 共催：釧路教育研究センター</p> <p>●釧路町教育研究所理科部会 第一回研修会 日程：未定 場所：達古武地区森林再生事業地(予定) 内容：フィールドワーク+取組みの紹介 対象：小学校・中学校教員 共催：釧路町教育研究所理科部会</p> <p>○釧路湖陵高等学校 釧路湿原巡検事前学習【実施支援】 日程：6月23日(金) 場所：釧路湖陵高等学校 内容：座学 対象：釧路湖陵高等学校 理数科1学年生徒</p> <p>○釧路湖陵高等学校 釧路湿原巡検【実施支援】 日程：6月29日(木) 場所：達古武地区森林再生事業地、夢が丘木道および展望台 内容：フィールドワーク+取組みの紹介 対象：釧路湖陵高等学校 理数科1学年生徒</p> <p>○釧路町立昆布森中学校【実施支援】 日程：未定 場所：達古武地区森林再生事業地(予定) 内容：フィールドワーク+取組みの紹介 対象：昆布森中学校全生徒</p> <p>○標茶町立標茶小学校【実施支援】 日程：9月5日(火) 場所：二本松展望台、土砂流入対策自然再生事業地(中久著呂)(予定) 内容：フィールドワーク+取組みの紹介 対象：標茶小学校5年生児童</p> <p>●第19回フィールドワークショップ 日時：8月8日(火) 場所：鶴居村温根内右岸堤防付近の湿原 内容：フィールドワーク 対象：ワンダグリンダ・プロジェクト参加者</p>	<p><ワンダグリンダ参加活動による実践予定> ○みんなで調べる復元河川の環境・2017夏 日時：平成29年7月15日(土) 場所：釧路川茅沼地区 内容：蛇行復元された水辺環境の調査 対象：一般(K I W C主催・環境調査) 主催：釧路国際ウェットランドセンター</p> <p>○タンチョウの冬の食事場所を作ろう 日時：7月 場所：鶴居村 内容：枯れ木や繁茂した木の伐採作業 対象：一般 主催：鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ</p> <p>○特定外来生物ウチダザリガニの捕獲体験 日時：平成29年7月23日(日) 場所：温根内ビジターセンター 内容：ウチダザリガニの捕獲体験と試食 対象：親子参加(小学生以上) 主催：釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会&こどもエコクラブくしろ</p> <p>○どんぐり記念日 日時：平成29年9月30日(土) 場所：トラストサルン達古武保護地 内容：どんぐりの植え付けと植林 対象：一般 主催：NPO法人トラストサルン釧路</p> <p>○カヌーDE清掃 in 達古武湖 日時：9月 場所：達古武湖 内容：カヌーに乗ってのゴミ拾いと「ヒシの実」試食 対象：一般 主催：環境コンサルタント株式会社</p> <p>○達古武沼探鳥会 日時：平成29年11月12日(日) 場所：達古武沼南岸のトラスト山荘下 内容：渡り鳥の観察会 対象：一般 主催：NPO法人トラストサルン釧路</p> <p><開建治水課> ○くしろ自然再生解説員 日時：5月～9月(不定期) 場所：釧路町細岡展望台 内容：細岡展望台を訪れる観光客に釧路湿原の魅力や自然再生事業などについて解説する。 対象：一般</p> <p>○釧路湿原川レンジャー 募集期間：4月25日～5月12日 登録人数：121名 認証式：5月29日(月) 内容：釧路湿原の河川環境保全についての取組の一環として、河川管理の一部を地域住民の協力を得て行うボランティア活動。学習会を年4回開催。 対象：釧路湿原川レンジャー登録者</p>
------	--	--

「ワンダグリンド・プロジェクト 2017」応募状況

○総数：60 団体（個人）81 取組み（協議会含む）

○広報支援施設：9 施設

「ワンダグリンド・プロジェクト 2017」参加者一覧

N O	氏名・団体名	取組み概要	N O	新 規	継 続
1	愛国幸恵町内会	釧路湿原や町内会周辺の身近な自然の写真や『ワンダグリンド☆ニュース』を町内会で回覧します	1		○
2	アトリエ「アリス」	釧路湿原などの自然を含む釧路地域の素晴らしさを描くことによりアピールする	2		○
		釧路に自生する植物を使ったアート作品の制作と発表	3		○
		釧路川周辺の清掃活動を実施します	4		○
3	イオン釧路店チアーズクラブ	環境学習	5		○
4	イオン釧路昭和店チアーズクラブ	地域と自然環境について学んでいます	6		○
5	伊勢 志郎	釧路湿原国立公園内の施設に来園記念の折鶴を提供しています。また、たんちよう釧路空港や丹頂鶴関連の施設にも提供しています。	7		○
6	釧路市生涯学習センター (指定管理者 一般財団法人釧路市民文化振興財団)	～いきいき女性講座～ 「キラコタン岬とコッタロ湿原展望台から釧路湿原を眺めよう」	8		○
		～ふるさと講座～ 湿原ホテル講座「釧路湿原の夜の隠れた風物詩を探ろう」	9		○
		～釧路学教養講座～ 「釧路湿原を訪ねて～キラコタン岬と自然再生地～」	10		○
		～まなぼつとわくわく体験隊～ 「森とあそぼう 2015」(達古武で自然再生を考える調査体験)	11		○
7	(NPO)美しい村・鶴居村観光協会	タンチョウ、湿原による環境のPR及び「湿原マップ」の販売を行います	12		○
8	(株)FMくしろ	放送を通じて、湿原の植物や昆虫、動物、歴史などをわかりやすく楽しく発信します	13		○
9	大八木英雄	放置された釣糸の回収や清掃活動、達古武湖でのヒシ刈りを行います。また釧路湿原を歩いていて気付いた事を報告します	14		○
10	お菓子司 二幸	「湿原まんじゅう」を販売します	15		○
11	カヌープロ	カヌーを通じ自然の素晴らしさや釧路湿原の大切さを伝えます	16		○
12	川口 秀人	湿原の様子を写真に収め、カレンダーにして掲示します	17		○
13	環境コンサルタント株式会社	達古武湖でカヌー清掃&ヒシ料理試食会を実施します	18		○
14	環境省釧路自然環境事務所	自然再生事業を行っている達古武湖にて、市民体験調査会を行います	19		○
15	(NPO)環境把握推進ネットワーク～PEG	釧路湿原に生息する希少動物や外来動植物に関する、学習会や講演会の実施	20		○
16	喜多島 麻鈴	コンサートを通じて湿原をPRします	21		○
17	(NPO)霧多布湿原ナショナルトラスト	霧多布湿原の保全活動を通して、人との交流を深め湿原ファンを増やします	22		○

18	釧路国際ウェットランドセンター	釧路川蛇行復元現場周辺環境調査を地域の人々と一緒に 行います	23	○
		湿地・生物多様性に係わる途上国の行政官等を対象とした湿 地保全やワイズユースに関する研修を実施します(JICAより委 託)	24	○
		ホームページ等による釧路湿原の情報発信(日本語・英語)	25	○
19	釧路子ども劇場	温根内川でのザリガニ釣りによるウチダザリガニの駆除	26	○
20	釧路自然解説員	「自然再生解説員」により釧路湿原や自然再生事業の組み 組みを細岡展望台を訪れる観光客を対象にわかりやすく解説 します	27	○
21	釧路湿原 MTB クラブ	釧路湿原周辺の林道ツーリングを行います	28	○
22	釧路湿原川レンジャー	釧路湿原や釧路川の観察活動および環境学習を通じて良好 な河川環境の維持に務めます	29	○
23	釧路湿原国立公園ボランティア レンジャーの会	クリーンウォークの実施	30	○
		ウチダザリガニ駆除調査	31	○
		温根内木道定点解説	32	○
24	釧路湿原国立公園連絡協議会	釧路湿原に関する情報を自然情報誌、ガイドマップ、ホーム ページなどで提供します	33	○
		温根内ビジターセンターと塘路湖エコミュージアムセンターで 自然ふれあい行事を実施します。また来訪者に自然解説や情 報提供を行います	34	○
		釧路湿原こどもレンジャー活動を実施します	35	○
		釧路湿原国立公園クリーンデーを実施します	36	○
25	釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生協議会や各委員会の情報を発信します(会 議公開、HP、ニュースレター発行)	37	○
		学習会や講演会などを行います	38	○
		市民参加の見学会を実施します	39	○
		パネル展などを実施します	40	○
		視察・研修などを受入れます	41	○
		自然再生に関わる資料を発刊します	42	○
26	釧路湿原全国車いすマラソン大会実 行委員会	釧路湿原全国車いすマラソン大会を開催します	43	○
27	釧路湿原マラソン実行委員会	釧路湿原マラソンを通じて湿原の美しさを参加者に伝えます	44	○
28	釧路市立博物館	釧路湿原に関わる調査を行い、企画展示や観察会、講演会 などで湿原の魅力を伝えます	45	○
29	釧路シャケの会	シャケの稚魚の里親募集と放流式を実施します	46	○
30	釧路短期大学	湿原をとりまく地域食材を使用した学生考案の「咲くサクッキー」を釧路 全日空ホテルと連携して販売し湿原自然再生に還元します	47	○
31	釧路走ろう会	釧路湿原マラソン大会をはじめ、練習会や個人で湿原の魅力 を感じ爽やかな汗を流しながら走る仲間を募っています	48	○
32	釧路ボタニカルアートの会	釧路湿原の植物を描きます	49	○
33	(株)釧路マーシュ&リバー	釧路川カヌーツーリングや釧路湿原ネイチャーウォークなどの 実施、釧路湿原の様子を画像発信するなど、全国そして全世界 へ釧路湿原の魅力をお伝えます	50	○

34	(NPO)釧路湿原やちの会	釧路湿原の聖域キラコタン岬入口周辺の外来植物オオアワダチソウの駆除を行います	51	○
35	こどもエコクラブくしろ	釧路湿原における特定外来生物の調査・防除活動	52	○
36	小荷田 行男	釧路湿原とその周辺域の植物生態・自然史・鳥類生態の調査研究	53	○
37	木幡 弥乃莉	『ワンダグリンダ☆ニュース』、ポスターやチラシなどのイラストを作成します	54	○
38	一般社団法人釧路観光コンベンション協会	釧路湿原をはじめ釧路市の観光情報を発信します	55	○
39	沢田建設株式会社	釧路湿原近郊の清掃活動(ごみ拾い)をします	56	○
40	品田 忠	木の枝の作品作りや展示、木工教室を通し湿原からの水の大切さを伝えます	57	○
41	上智大学 社会とエコロジー“リバーズ”	釧路湿原を軸に河川の環境保全、野生動物の保護活動などの取り組みを学ぶ	58	○
42	市立釧路図書館(釧路市図書館施設指定管理者業務 釧路市民文化振興財団、くしろ知域文化財団コンソーシアム)	釧路湿原に関する情報提供及び、関連講座や展示を通じた湿原の紹介をします	59	○
43	シルバーシティときわ台ヒルズ	釧路湿原を学ぶ自然文化講座を実施します	60	○
44	太平洋総合コンサルタント株式会社	標茶高校における体験型の環境教育の実施(野外での水質調査、生物調査を通して身近な環境を楽しみながら学ぶ)	61	○
45	タクツパ(ペンネーム)	道東の自然や地名をアイヌ語で紹介します	62	○
46	竹中 康進	「羽幌みんなでつくる自然空間協議会」によるビオトープづくりの取り組みを紹介しします	63	○
47	田中 道人	ドローンで湿原を撮影し、動画で紹介しします	64	○
48	(NPO)タンチョウ保護研究グループ	タンチョウの保護に関する教育普及活動を行います	65	○
49	辻野 正	釧路湿原の生き物の生態を紙細工で紹介しします。その他作成指導や実演、完成品や作成キットの無料配布や展示を行います	66	○
50	(株)鶴居村振興公社 鶴居村どさんこ牧場	北海道和種馬(通称どさんこ)による釧路湿原国立公園を含む地域でのホーストレッキングで多くの方々に地域の自然を楽しんで頂きます	67	○
51	(NPO)トラストサルン釧路	ナショナルトラスト地の環境保全作業にボランティアの方と共に取り組み、湿原やトラスト地の観察会を行います	68	○
52	(株)日専連釧路	「日専連釧路フィッシャーメンズカード」利用額の一部を釧路湿原国立公園連絡協議会を通じて子供達の野外活動で役立つものを寄付しします	69	○
53	西村 孝広	釣りの自警活動の一環として釣り場周辺の清掃活動を行います	70	○
		オオハンゴンソウの駆除活動を行います	71	○
54	(公財)日本野鳥の会 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	タンチョウの冬季自然採食地の整備、普及教育、生息環境調査を行います	72	○
55	北海道阿寒高等学校	「地域巡検」を実施し、釧路湿原の学習を中心にすえ自然の大切さを体験学習しします	73	○
56	(NPO)北海道フィッシャーズ協会	釣りをとおして釧路川・湿原を知っていただく活動	74	○
57	ミュージックサロン・タジマ	カラオケ発表会を通して湿原のPRや募金活動を行う	75	○

58	やちラボ	釧路湿原の旬の自然情報をワンダグリンド事務局に届けます	76		○
		釧路湿原の魅力を地元の人々や観光客に伝えます	77		○
		釧路湿原に生息する「やちぼうず」の魅力をPRします	78		○
59	酪農学園大学 環境地球科学研究室	釧路湿原における物質循環についての研究	79		○
60	林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター	シラルトロ湖上流の立枯れ被害にあった森林で市民参加型の自然再生事業を行います	80		○
		自然再生事業地の広葉樹の種子から育成した苗木を3年程度預かって育てて頂いています	81		○
60 団体・個人/81 取組み					

	施設名	広報支援	N O	新規	継続
1	釧路市民活動センターわっと	ワンダグリンドニュースの掲示、ポスター掲示	1		○
2	釧路町温水プール	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター、チラシ掲示	2		○
3	釧路町地産地消センターロ・バザール	イベントポスター、チラシ	3		○
4	釧路町総合体育館	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター、チラシ	4		○
5	達古武オートキャンプ場	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター、チラシ	5		○
6	細岡ビジターズラウンジ	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター、チラシ	6		○
7	標茶町郷土館	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター、チラシ	7		○
8	豊文堂書店北大通店	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター、チラシ掲示	8		○
9	企業組合ウェルフェアグループ	ワンダグリンドニュースの掲示、イベントポスター、チラシ掲示	9		○
9 施設					

○ワンダグリンド・プロジェクト 参加団体・活動の推移

(2005 38 団体・39 取組) ※事務局事業等も含んだ数字
2006 31 団体・49 取組
2007 35 団体・61 取組
2008 42 団体・75 取組
2009 47 団体・82 取組
2010 45 団体・76 取組
2011 47 団体・75 取組
2012 57 団体・74 取組
2013 53 団体・80 取組
2014 57 団体・79 取組
2015 57 団体・77 取組
2016 60 団体・81 取組
2017 60 団体・81 取組

再生普及推進のための連携チーム会合について

■再生普及推進のための連携チーム会合の開催

第5回再生普及推進のための連携チーム会合の開催

日時：平成29年5月18日（木）

場所：釧路地方合同庁舎4階 第三会議室

参加者数：15名

議題：1. 再生普及推進のための連携チーム設置要綱の見直しについて
2. 環境教育の取組み及び自然再生への参加機会づくりについて
3. 自然再生の普及のためのパンフレットの活用について

■設置要綱の見直しについて

- ・従前、各小委員会事務局を構成員としていたが、連携をより強化するため、自然再生協議会事務局全体を構成員とすることについて提案し、承認された。
- ・2016年度以降に着手することとされていた課題2点について、正式に取組み課題に位置づけることとなった。

■環境教育の取組み及び自然再生への参加機会づくりについて

- ・今年度各小委員会事務局で実施を予定しているイベント等について情報共有と意見交換を行った。

■自然再生の普及のためのパンフレットの活用について

- ・自然再生の普及のためのパンフレット「湿原とともに暮らす未来の子どもたちのために（自然再生ガイドブック）」の活用推進について事務局より説明を行い、意見交換した。
- ・パンフレットの活用実績を把握するため、使用した日時、イベント等の名称、参加人数等について事務局に報告することとした。

「再生普及推進のための連携チーム」の設置について

2015年 7月10日
釧路湿原自然再生協議会
再生普及小委員会 決定

1. 背景・経緯

- 釧路湿原自然再生協議会（以下、「協議会」）は、第21回会合（2015年3月16日）で第3期釧路湿原自然再生普及行動計画（以下、「行動計画」）を採択した。
- その際、第2期行動計画までの推進主体であった「再生普及行動計画ワーキンググループ」は第27回（2015年2月9日）を以て終了し、今後は再生普及小委員会が行動計画の推進主体となること、このために同小委員会内に新たに（仮称）「行動計画推進チーム」を設置して小委員会間連携、調整等を行うこと、必要に応じてワーキンググループ等を設置すること、が併せて了承された。
- 第25回再生普及小委員会（2015年7月10日）において、名称を「再生普及推進のための連携チーム」とすることとされた。

2. 設置目的

- 釧路湿原自然再生全体構想（2015年3月改訂）に基づき、第3期行動計画の重点分野を小委員会連携の下に進めるために、自然再生事業実施者等が参画して再生普及小委員会の検討・協議事項に関する企画立案・調整等を行う。

3. 構成

- 再生普及小委員会委員長及び副委員長
- **釧路湿原自然再生協議会事務局**各小委員会事務局
- 委員長の判断により必要に応じて関係者に出席を招請
- 事務局は、環境省釧路自然環境事務所（再生普及小委員会事務局）が担当する（日常的には「再生普及行動計画オフィス」（釧路湿原野生生物保護センター内）が担当）

4. 会合開催方針

- 本チームは、主として再生普及小委員会開催に先立ち、年2回程度会合の開催を予定する。
- 必要に応じて会合を招集、または、小委員会事務局間打合せ等を実施する。
- 会合開催状況は、再生普及小委員会に報告する。

平成29年5月18日 一部改定

「再生普及推進のための連携チーム」の取組み課題

2015年 7月10日
釧路湿原自然再生協議会
再生普及小委員会 決定

—(※については、2016年度以降の着手を予定)—

1. 自然再生の普及のための効果的な情報発信(行動計画 3-2 関係)

- 再生普及小委員会で制作を予定する、釧路湿原の生態系サービスや自然再生を普及するためのツール（パンフレット、パネル等）の作成方針を検討する。
- ※ 自然再生の具体的な計画や実施状況に関する各小委員会及び協議会全体の情報発信、普及方策に関する評価を共有し改善を検討する。（協議会及び行動計画のホームページの改良等）

2. 自然再生の環境教育への活用促進(行動計画 3-2 関係)

- 各小委員会による自然再生の環境教育への活用予定、実施状況を毎年度把握し、成果と課題を共有する。
- ※ 各小委員会の自然再生の環境教育への活用の可能性や方針について共有し、協議会としての活用方針を検討する。

3. 自然再生への地域・市民の参加の促進(行動計画 3-3 関係)

- 各小委員会による自然再生への参加機会づくりや地域・市民によるモニタリング、現地見学会等の事業計画を収集（情報提供を要請）、集約・共有し、協議会としてまとめて情報発信していく。
- 各小委員会の担当分野における、地域・民間主導による自然再生または自然再生に資する活動（＝いわゆる「小さな自然再生」に相当する活動）に関する事例を収集（情報提供を要請）し、ワンダグリンド・プロジェクトへの参加等を促していく。

4. その他

- 釧路湿原自然再生協議会基金の具体的な運営体制を検討する。
- 上記に関わらず、再生普及小委員会に対する協議会及び各小委員会のニーズを受け、対応方針等を検討する。

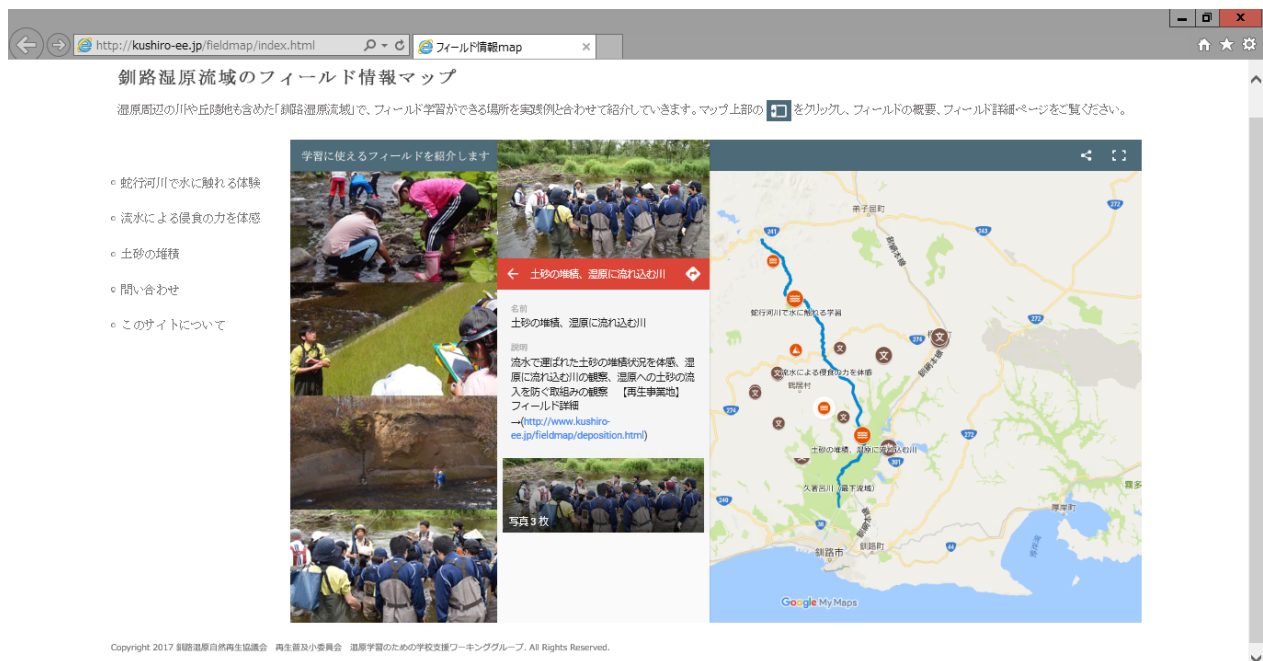
平成29年5月18日 一部改定

学校支援ワーキンググループの取組みについて

■ 取組み課題 1 「湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進」

2016 年度には、釧路湿原流域においてフィールド学習が可能な場所を実践例と合わせて紹介する「フィールド情報マップ」を新たに作成し、久著呂川沿いの土砂流入対策事業地等のフィールド概要、関連する教科単元、実践事例（授業計画、ワークシート、実施結果等）をとりまとめ、WEB サイト（kushiro-ee.jp/fieldmap/）に掲載した。

今年度は、達古武地区フィールドで行われる下記取組み課題 2 の実践事例を踏まえ、フィールド情報マップに追加していく。



フィールド情報マップ

■ 取組み課題 2 「自然再生の学校教育への活用促進」

今年度は達古武地区を中心に、実践支援や教員研修等を実施予定。

- ・ 自然再生事業地を活用した教員研修講座の企画
企画調整中：釧路町教育研究所理科部会共催教員研修（9/11 予定 達古武）
- ・ 自然再生事業地を活用した実践コーディネイト
実践校（予定）：釧路湖陵高等学校（6/29 達古武）、標茶町立標茶小学校（9/5 久著呂川）、釧路町立昆布森中学校（10/17 予定 達古武）

今後、上記学校の実践コーディネイト、当日の実施支援等を引き続き行うとともに、新たな実践づくりに向けて、学校関係者との意見交換、調整を行って行く。

■ 取組み課題3 「学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」

- ・ 教員研修講座の企画
北海道高等学校理科研究会釧根支部での教員研修講座（6/8 温根内）、
釧路教育研究センター共催教員研修講座（8/30 キラコタン）
- ・ 釧路湿原流域環境を題材とした実践等の発表の場作り、学びのプロセスの支援
標茶町立標茶小学校、北海道教育大学釧路校（境教授）との連携による実施
- ・ WEB サイトへの情報掲載と取組みの周知
授業支援実績の掲載（kushiro-ee.jp/support/support.html）
教員研修講座の詳細記録の掲載（kushiro-ee.jp/training/training.html）
学校支援 WG 会合に係る資料、議事要旨等の掲載（kushiro-ee.jp/training/training.html）
流域の教育委員会の協力を得たワーキングの取組み周知（チラシ配布等）

引き続き、様々な機会を捉えて WG 取組みの周知を図るとともに、学校からの問い合わせに応じて授業支援等を実施していく。



北海道高等学校理科教育研究会釧根支部での研修講座
（6/8 温根内ビジターセンター）

自然再生の普及のためのパンフレットの活用について

自然再生の普及のためのパンフレット「湿原とともに暮らす未来の子どもたちのために（釧路湿原自然再生ガイドブック）」について、原稿が完成。近日中に印刷を行う。

今後は以下のとおり活用していくこととしたい。

○パンフレット及びPDF データの配布

- ・ 近日中に初版 1,000 部印刷予定。在庫があれば希望に応じて配布する。
- ・ 在庫がない場合や、ページを抜粋して使用した場合はPDF データで配布する。
※1,000 部終了後当面は増刷の予定なし。

○パンフレットの活用方法について

- ・ 各事務局が実施する現地見学会や学校教育対応等の際に、説明資料とすることを想定。
- ・ 観光パンフレットのような陳列配布は想定していない。
- ・ 自然再生関係のウェブからダウンロードできるようにする。（置き場所、リンク等、要整理）

○修正について

- ・ 事業の進展等により内容の更新が必要となった場合は、事務局（環境省釧路自然環境事務所）で随時修正作業を行う。
- ・ 内容の不備等があれば、事務局に連絡されたい。
- ・ 原則最新版を使用することとする。使用の際には更新の有無を確認してほしい。

○活用実績の報告について

- ・ パンフレットを活用したイベント・研修等について、事務局あて報告されたい。（日時、イベント等の名称、参加人数等）
- ・ 必要ページのみ印刷配布したものも含む。
- ・ 毎年度初回の再生普及小委員会において、前年度の使用実績について報告する予定。

